

2024年 市民自然環境調査

みづかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ヒガンバナ）



上細井町

目 次

1 調査の目的	5 調査地点
2 調査の内容	6 参加者の声・写真
3 調査の結果	7 参考資料
4 調査データ	8 事務局より

令和6年12月
前橋市 環境部 環境政策課



1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、令和3年から、次世代を担うこども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にヒガンバナの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、私たちが身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを勘案し、「ヒガンバナ」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集します。（調査に参加する方を「隊員」といいます。）
- ②隊員は、調査するヒガンバナを決め、調査を行います。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出します。

(2) 調査の概要

テーマ	調査内容	調査期間
ヒガンバナの調査	開花日	8月15日（木）～9月30日（月）

3 調査の結果

ヒガンバナ

- ・調査隊員数：26名
- ・調査地点数：30地点
- ・開花日：8月26日～9月28日
- ・平均開花日：9月16日



〈参考①〉R5みづかな季節かんじ隊調査結果

- ・調査隊員数：21名
- ・調査地点数：29地点
- ・開花日：9月4日～9月30日
- ・平均開花日：9月17日



〈参考②〉前橋地方気象台の観測データ

観測	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	9月14日	9月20日	9月11日	9月14日	9月25日	9月28日
平年差	+1	+7	-2	+1	+12	+15
昨年差	+2	+6	-9	+3	+11	+3

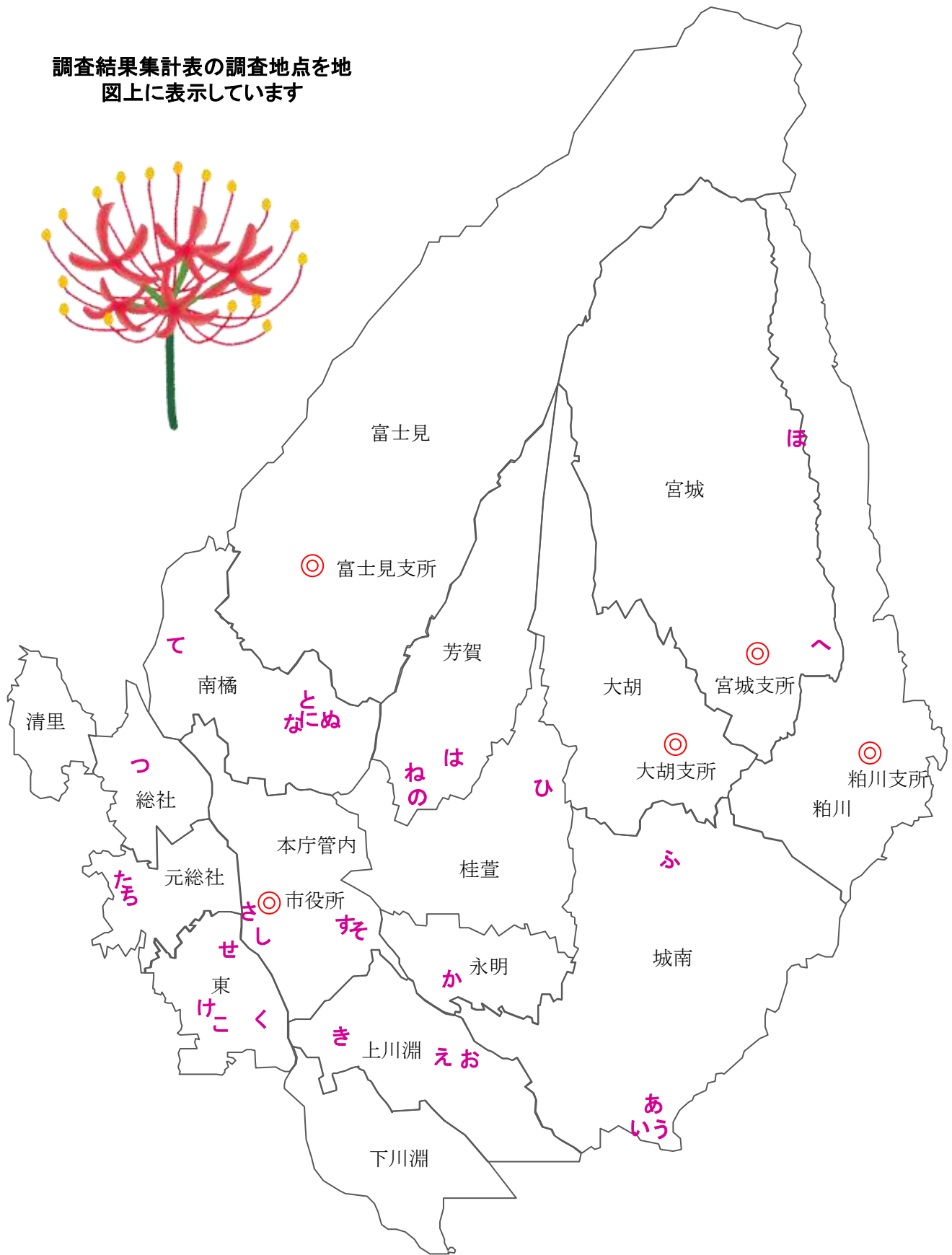
平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数の場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。

4 調査データ

調 査 結 果 集 計 表						
番 号			調 査 地 点		調 査 結 果	
1	2	3	4	5	6	7
受 付 番 号	隊 員 番 号	調 査 地 点	町 名	地 点 名	開 花 日	周 り の 環 境
1	1	さ	石倉町と大手町の間	群馬大橋上の緑地帯	9月28日	その他
2	2	す	文京町	自宅	9月25日	住宅街
3	3	ふ	泉沢町	米作農地	9月20日	その他
4	4	ぬ	上細井町	八幡山公園	9月16日	公園・墓地
5	5	は	鳥取町	自宅	8月26日	田んぼ・畑
6	6	く	上新田町	利根川沿い土手(雷電神社側)	9月18日	土手
7	7	け	小相木町	大徳寺	9月19日	公園・墓地
8	8	へ	馬場町	田の道端	9月20日	田んぼ・畑
9	9	ほ	苗ヶ島町	千本桜公園東側	9月14日	森・林
10	10	き	上佐島町上野地区	西光寺の北側土手	9月20日	土手
11	11	し	天川原町	群馬県立聾学校	9月17日	学校・公共施設
12	12	せ	小相木町	近所の家畑	9月19日	住宅街
13	13	ち	元総社町	染谷公民館	9月18日	土手
14	14	た	元総社町	自宅、墓地、公園	9月9日	住宅街公園・墓地
15	15	な	上細井町	八幡山砦跡	9月18日	公園・墓地
16	16	こ	箱田町	自宅	9月20日	住宅街
17	17	つ	総社町植野	二子山古墳	9月18日	住宅街
18	18	え	後閑町	住宅地	9月2日	住宅街
19	19	ね	上沖町	桃ノ木川土手	9月14日	土手
20	19	の	下沖町	附属中学校近くの田んぼ	9月21日	田んぼ・畑
21	20	う	下増田町	下増田町 田んぼ畔	9月12日	田んぼ・畑
22	20	あ	下増田町	下増田町広瀬川土手(北側)	9月16日	土手
23	20	そ	文京町	二子山(古墳)公園	9月20日	公園・墓地
24	20	に	上細井町	八幡山南橋林の広場	9月18日	公園・墓地
25	21	ひ	亀泉町	自宅庭	9月26日	住宅街
26	22	お	広瀬町	-	9月20日	住宅街
27	23	と	上細井町	自宅の庭	9月27日	住宅街
28	24	か	上大島町	自宅	9月24日	住宅街
29	25	て	川端町	田圃畔	9月3日	田んぼ・畑
30	26	い	下増田町	田んぼの畔	9月6日	-
平 均					9月16日	

5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を地図上に表示しています



6 参加者の声と写真（一部抜粋）



い 下増田町

・9/25 今年も良く咲いております。りっぱに咲いてすばらしいですよ。（隊員番号8）

・今年は暑かったのか日陰の方が早く咲きました。文京町3丁目二子山古墳もきれいに咲きました。（隊員番号2）

稲穂の穂が垂れるころ
ヒガンバナの開花となりました。（隊員番号26）



て 川端町



・毎年定点観察している田んぼの畔のヒガンバナです。猛暑の8月でしたが、月末頃気温がやや下がり、咲き始めたようです。9月1日には一輪でしたので、3日頃には数輪咲いていたと思われます。7日に確認に行った時はほとんど終わっていました。昨年よりやや早い開花です。毎年どの場所よりも早く咲きます。（隊員番号25）

・17日以前は1本のびたくきに赤味のあるつぼみをみつけた程度。19日には3〜4輪咲き始めていたので、前日（18日）には見に行けなかったながら開花18日としました。今は全く想像できないながら、すぐに赤く一面に咲くのでしょう。（隊員番号6）



さ 石倉町と大手町の間

・群馬大橋の歩道橋の緑地帯に真っ赤な彼岸花と珍しいクリーム色の彼岸花が計9ヶ所。今年も見事に咲きました。前日までの蕾が翌日には一斉に開花し、クリーム色の彼岸花と鮮やかに花開く真っ赤な彼岸花。群馬県庁を背景に咲き誇っています。赤色だけの写真の彼岸花の開花日は9月24日です。場所は群馬大橋の緑地帯。クリーム色の彼岸花と同じ所です。赤色の方が数日、早く開花しました。（隊員番号1）



・今年は暑く滝川沿いの散歩をしなかったもので、いつもの観察出来ず！大徳寺のヒガン花いつもなら半分は枯れているのに満開もしくは開いてないのもあり。（隊員番号 7）

・今年もまた林下に一面に咲きました。ところが先日公園清掃で道端のものの一部が雑草とともに刈り取られていました。でも 5 日後通ったら、ヒガンバナだけ 10 cm 位つぼみを頭に芽を出しているのに驚かされました。（隊員番号 4）



ね 上沖町

・太陽の直接当たる所はチョボチョボ。日陰は従来の 7 割程度咲いた。黄色は従来の 3 割程度咲いた(9/23 咲く)（隊員番号 14）

・今年のヒガンバナは色が（赤色）が例年と比べ鮮やかではありませんでした（隊員番号 17）

・9/24 満開の所と 2～3m 離れた所は、つぼみだったり少し咲きかけた所もあります。（隊員番号 12）



と 上細井町



こ 箱田町

こ 箱田町

今年は厳しい暑さが続き「秋よこい♪は～やくこい♪」と願うばかりの日々を過ごしました。彼岸花の開花はいつもより遅かったですが、花を咲かせてくれました。やっと秋の訪れを感じることが出来ました。「彼岸花ちゃん、今年も咲いてくれてありがとう！」（隊員番号 16）



て 川端町

・校庭東側フェンス沿いに 30 本ほどのヒガンバナ
9/15 1 輪、9/19 には 20 輪以上。
今年は咲き出すのも早かったですね！（隊員番号 11）



の 下沖町



な 上細井町

・今年の彼岸花は、去年より 2 日遅れて咲きました。一昨年より 10 日遅いです。この 3 年間は毎年猛暑が続きますが、開花もこの暑さに影響しているのでしょうか。(隊員番号 10)

・9 月 26 日満開。白花が植えられ、赤白が咲いていました。近年園芸品種が植えられている。赤、白、黄色が見られる。(隊員番号 15)

・観察場所は主に上段に注意して居りますが 353 号線近くは早目に咲きます。それも木下闇奥に多い様です。(隊員番号 9)

開花日は天候状態によっても変わってくるのでグッドタイミングを逃してしまう場合がある。(隊員番号 3)



ふ 泉沢町

7 参考資料

ヒガンバナについて

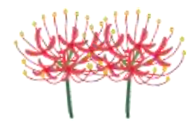
別名マンジュシャゲと呼ばれる多年草で、秋になると道端や墓地、あぜ道などに集団で花を咲かせる。日本各地や中国に分布しており、花が終わった後に葉が出る。

種類について

ショウキズイセン：沖縄地方でのヒガンバナの代替品種。黄色い花を咲かせる。

シロバナマンジュシャゲ：ヒガンバナとショウキズイセンの交雑種だと言われており、白色の花を咲かせる。

キツネノカミソリ：オレンジ色でヒガンバナと似た花を咲かせる。花はあまり反り返らない。



8 事務局より

今年度の「ヒガンバナ」の調査では、26名の隊員の皆様から沢山の写真とともにご報告をいただきました。猛暑の中での調査は大変だったと思いますが、隊員の皆様におかれましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。開花期間が1週間程度と美しくも儚いヒガンバナですが、どの写真でも色鮮やかに咲き誇っており、開花を心待ちにされていた様子が伝わりました。

異常気象が続いておりますが、暑さに負けず、今後も秋の風物詩として咲き続けてくれる事を願うばかりです。また来年も皆様からのご報告をお待ちしております。

今後も「みづかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。